



## 横浜市立大学×横浜ワールドポーターズ協働プロジェクト 横浜の文化施設をめぐるスタンプラリー企画に学生が協力

横浜市立大学中條祐介教授<sup>\*1</sup>のゼミ学生が、横浜ワールドポーターズ（株式会社横浜インポートマート）が開催するスタンプラリー企画に協力しました。

この企画は、横浜ベイエリアに位置する代表的な 10 の商業・文化施設をスタンプラリー形式で盛り立て、地域の活性化を図ることを狙いとしています。学生らしい目線で各施設を紹介することで、これまで以上に参加者に企画を楽しんでいただこうと横浜インポートマートが学生に紹介文作成を依頼。学生は、9 日間で施設の取材を行い、学生目線で各施設の特徴や良さを 50 字のコピーにまとめ上げました。

この活動は、新港地区の魅力をも高めエリアを活性化することを目的に、本学の教員地域貢献活動支援事業（協働型）<sup>\*2</sup>として中條祐介教授とそのゼミ学生が 3 か年計画で、株式会社横浜インポートマートと協働で取り組む「新港地区発ヨコハマ“もの”&“コト”の共同開発<sup>\*3</sup>」プロジェクトの一環です。

### 【スタンプラリー概要】

- 1 開催期間 令和元年 9 月 20 日（金）～ 12 月 25 日（水）
- 2 開催場所 横浜ベイエリア 10 施設



スタンプラリー台帳イメージ

横浜赤レンガ倉庫 2 号館、横浜港大さん橋国際客船ターミナル、神奈川県立歴史博物館、よこはまコスモワールド、日本郵船歴史博物館、ニュースパーク、横浜みなとみらい万葉倶楽部、横浜市開港記念会館、横浜税関、横浜ワールドポーターズ（五十音順）

### 紹介文例) 横浜税関

クイーンのお愛称で親しまれる横浜三塔のうちの 1 つ。横浜三塔を一度に見渡せると幸せになれるという逸話も！（50 字）

- 3 記念品 鎌倉市在住のイラストレーター・ジュジュタケシ氏デザインの卓上カレンダー

### 学生感想



石原さん（左）池水さん（右）

#### 石原 正裕さん（国際総合科学部 2 年）

取材を通して、相手から上手く話を聞き出すことの難しさを実感しました。対応して下さる施設の方は興味深いお話をたくさんしてくださり、大変貴重な機会となりました。特にワールドポーターズでの取材は、普段知ることのできない商業施設としての強みや裏話を聞くことができ面白かったです。今回の経験を今後のゼミ活動や就職活動など様々なことに活かしていきたいと思います。

#### 池水 勇輝さん（国際総合科学部 2 年）

今回のゼミ活動は 2 年生にとっては外部の方と触れ合う初めての機会で大変緊張しましたが、最終的には楽しんで取り組むことができました。紹介文を書く際には学生視点で書くことを意識しました。一つの例として、横浜税関での取材で職員の方から横浜三塔の都市伝説を聞き出し、紹介文に盛り込みました。実際にこのスタンプラリーイベントにも挑戦してみたいと感じました。

学生が [Twitter](#) (@wa\_pokun)、[Instagram](#) (sekainowapokun) で横浜ワールドポーターズ、みなとみらい周辺の魅力を発信中！

### 【取材をご希望の方は下記お問い合わせ先までご連絡ください】

#### お問い合わせ先

企画財務課 企画担当課長 小松 利行 Tel 045-787-2405

## 参考

### ※1 中條 祐介（なかじょう ゆうすけ） 教授 プロフィール

横浜市立大学副学長。公認会計士試験、証券アナリスト検定試験の試験委員を歴任。受賞歴に、NOMURA Award（平成23年3月）受賞、日本会計研究学会・学会賞（平成24年8月）。現在、日本会計研究学会理事、日本インベスター・リレーションズ学会副会長、日本ディスクロージャー研究学会副会長など。

### ※2 教員地域貢献活動支援事業（協働型）

横浜市立大学の教員の専門性や大学が持つ「知」のリソースを活かしながら、自治体・企業等から提案される地域課題を、調査・研究・社会実験等の活動を通じて協働で解決する事業。

### ※3 新港地区発ヨコハマ“もの” & “コト”の共同開発

新港地区の中核施設である横浜ワールドポーターズ（YWP）のさらなる情報発信力と求心力を高めることを目的に、学生視点による新港地区の潜在的な魅力の掘り起こしや、来街者へ向けた魅力的な“コト”の発信と“もの”づくりを行う。

3か年計画の2年目となる平成30年度は、新港地区の歴史的な経緯や顧客ニーズ等をはじめとする多面的な調査を実施し、新港地区の集客力・求心力を高める“コト”企画の実施と、新港地区の魅力を高める“もの”の開発に向けた検討を行う。

### 中條ゼミナール

令和元年度は41名のゼミ生が在籍（内訳：国際総合科学部4年生14名、3年生14名、2年生13名）。プロジェクトには、統括リーダー、イベントチーム、商品開発チームに分かれて取り組んでいる。

### 活動の経緯および今後の予定

平成29年度 商品開発のための市場調査

- ・クリスマスワークショップの実施

平成30年度 提携先リストアップ、商品案を具体化

- ・クリスマスワークショップの実施
- ・モザイクアート展示
- ・開発商品の試行販売

令和元年度 スタンプラリーの開催、クリスマスワークショップの開催、モザイクアート展示（予定）



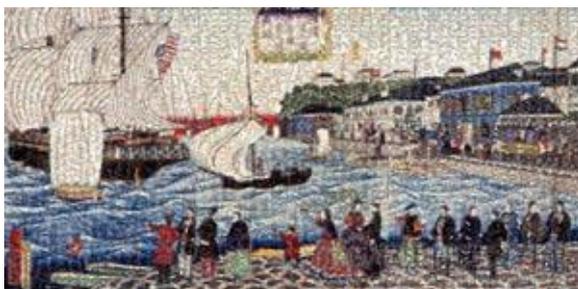
学生デザインのトランプ



横浜をイメージしたマスキングテープ



クリスマスワークショップの様子



作年度展示したモザイクアート



モザイクアートの写真撮影をしたゼミ生